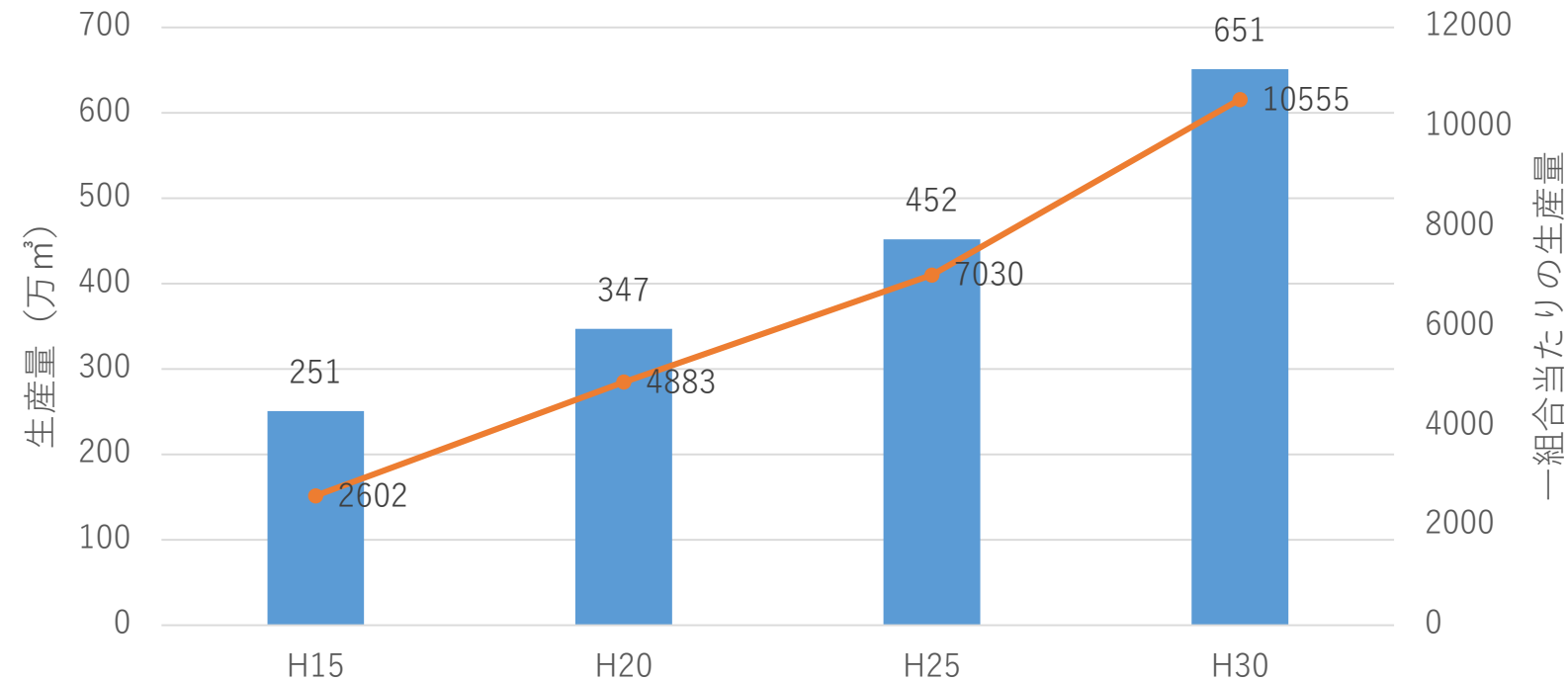


CLTの利用拡大等について

1 森林組合系統の丸太生産量



●森林組合系統の丸太生産量は15年で

2.5倍

2 CLTと森林組合系統の関わり

●M県やT県等では推進協議会の構成員として普及活動を行っているほか、CLT製造企業に丸太を安定供給している。

CLTの利用拡大等について

3 CLTに期待すること

●過去、木材需要は、住宅建築用材とパルプ用材に限定されていた。
このため、国産材価格は輸入材の価格や為替の影響を受けて乱高下し、林業経営に悪影響を及ぼしていた。

その後、木材資源の充実に伴い森林組合系統等が丸太を安定供給するとともに、構造用合板、フロア台板、LVL、バイオマス利用、木材輸出といった需要創造により、価格の安定、需給率の向上が図られた。

今後一層の丸太生産が見込まれる中、CLTも需要創造の一角を占めてもらいたい。

4 CLT普及に向けた課題及び今後取り組むべきと考える施策等

●丸太を安定的に供給するためには、森林所有者に利益を還元し、林業の再生産を進めることが必要。

そのためには、

⇒ 路網の整備等による丸太生産コストの削減

⇒ 原木の適正価格での販売

が必要。